

ひるば

平成27年3月発行

【編集・発行】

大分県公民館連合会

大分市府内町3-10-1

電話 097-506-5561

優良公民館紹介

第67回優良公民館 臼杵市田野地区公民館 〔文部科学大臣表彰〕

臼杵市野津町にある田野地区公民館は、旧田野小学校と野津小学校の一部の校区（人口約1200人）を所管している。当地区内には、鎌倉時代の寺院群が点在し往時をしのばせる九重の塔（国指定）や、孟宗竹の突然変異による金名孟宗竹などがあり、訪れる人々を楽しませている。

田野地区公民館は、開館して今年で20年の節目を迎える。この間、人口減少が続く、地域から小学校がなくなるなど過疎化に歯止めがかからない現状である。現在では、高齢化率は45パーセントを超えようとしている。このような状況を踏まえ、よりよい地域づくりを目指し、田野地区振興協議会（自治会、老人会、PTAなど関係団体）を立ち上げた。これまでの活動としては、当公民館と大分大学とが協働して、公民館を拠点とした地域課題解決のため方策を提言し、地元で取れる農産物の直販所の開設、地域の祭りの運営などにより、地域住民との交流の促進を図ってきた。



平成26年8月には、地域の伝統文化の継承のため、盆踊り保存会の協力の下、供養盆踊りを開催している。この行事は、この1年の間に亡くなった地域の方々の供養を行うとともに、盆に帰省した地元出身者と地域住民の貴重な出会いの場となっている。

同9月には、今日の地域を築いてこられた75歳以上の高齢者を招き、敬老会を実施した。この中では、地元出身の芸達者な人々による日本舞踊やハワイアンダンスの披露、大分県庁職員による吹奏楽を楽しんだ。

同11月には、田野地区振興協議会との連携により、「ふるさとふれあい祭り」を開催した。この取組では、閉校となった田野小学校跡地において、地域住民による「ふれあい運動会」や、野津中学校の生徒による吹奏楽・和太鼓・音楽バンドの演奏、三重総合高校の生徒による神楽公演などを行い、地域の力を結集した事業の展開を図っている。

また、総合型地域スポーツクラブとの連携事業を行った。これは、地区の子供たちとスポーツクラブの会員が参加し、郷土史家の講師を招いて、先人たちが築いてきた文化財を訪ね歩く「郷土の史跡めぐりウォーキング」を開催した。今後も田野地区公民館では、優良公民館の荣誉に浴したことを機に、より活用しやすい公民館活動の構築に向け、スタッフ一同取り組んでいるところである。

<大分県公民館連合会ホームページ>



大分県公民館連合会のホームページを開設いたしました！



大分県公民館連合会

検索

URL <http://manabi.oita-ed.jp/oitakenkoren/>

ひるば

平成27年3月発行

【編集・発行】

大分県公民館連合会

大分市府内町3-10-1

電話 097-506-5561

優良公民館紹介

第67回優良公民館 臼杵市田野地区公民館

臼杵市野津町にある田野地区公民館は、旧田野小学校と野津小学校の一部の校区（人口約1200人）を所管している。当地区内には、鎌倉時代の寺院群が点在し往時をしのばせる九重の塔（国指定）や、孟宗竹の突然変異による金名孟宗竹などがあり、訪れる人々を楽しませている。

田野地区公民館は、開館して今年で20年の節目を迎える。この間、人口減少が続く、地域から小学校がなくなるなど過疎化に歯止めがかからない現状である。現在では、高齢化率は45パーセントを超えようとしている。このような状況を踏まえ、よりよい地域づくりを目指し、田野地区振興協議会（自治会、老人会、PTAなど関係団体）を立ち上げた。これまでの活動としては、当公民館と大分大学とが協働して、公民館を拠点とした地域課題解決のため方策を提言し、地元で取れる農産物の直販所の開設、地域の祭りの運営などにより、地域住民との交流の促進を図ってきた。



平成26年8月には、地域の伝統文化の継承のため、盆踊り保存会の協力の下、供養盆踊りを開催している。この行事は、この1年の間に亡くなった地域の方々の供養を行うとともに、盆に帰省した地元出身者と地域住民の貴重な出会いの場となっている。

同9月には、今日の地域を築いてこられた75歳以上の高齢者を招き、敬老会を実施した。この中では、地元出身の芸達者な人々による日本舞踊やハワイアンダンスの披露、大分県庁職員による吹奏楽を楽しんだ。

同11月には、田野地区振興協議会との連携により、「ふるさとふれあい祭り」を開催した。この取組では、閉校となった田野小学校跡地において、地域住民による「ふれあい運動会」や、野津中学校の生徒による吹奏楽・和太鼓・音楽バンドの演奏、三重総合高校の生徒による神楽公演などを行い、地域の力を結集した事業の展開を図っている。

また、総合型地域スポーツクラブとの連携事業を行った。これは、地区の子供たちとスポーツクラブの会員が参加し、郷土史家の講師を招いて、先人たちが築いてきた文化財を訪ね歩く「郷土の史跡めぐりウォーキング」を開催した。今後、田野地区公民館では、優良公民館の荣誉に浴したことを機に、より活用しやすい公民館活動の構築に向け、スタッフ一同取り組んでいるところである。

<大分県公民館連合会ホームページ>



大分県公民館連合会のホームページを開設いたしました！



大分県公民館連合会

検索

URL <http://manabi.oita-ed.jp/oitakenkoren/>

平成26年度 大分県公民館連合会 全体研修会 新任公民館職員研修会 公民館長・主事研修会の様子

大分県公民館連合会では、全体研修会、新任公民館職員研修会、公民館長・主事研修会を毎年開催しています。これは、公民館関係者が一堂に会し、研修をとおして公民館職員としての資質の向上と相互の連携を図ることを目的に開催しています。



全体研修会

期日 平成26年5月14日(水)
会場 別府市(県立社会教育総合センター)
参加者数 107名
演題 「広報誌づくり講座」

講師 大分合同新聞社NIE推進室 室次長 三股 秀明氏
内容 新聞づくりとは、新聞記者≠漁師、整理記者≠料理人である。読者が読みやすい新聞づくりの基本について、企画やテーマ、地域ネタの情報源、原稿依頼の注意点、取材の仕方、写真の撮り方、記事の書き方、見出しの付け方、レイアウトなど実例を交えた分かりやすい解説であった。

参加者の声から

- プロの方から紙づくりの基本を聞くことが出来、広報紙づくりのノウハウを取ることができた。
- 読み手を意識して新聞を作っていなかったが、レイアウトの仕方や見出しの付け方など詳しいテクニックを聞いて大変なになった。自己流で作っていたので、マンネリ化していた。工夫していきたいと思う。
- 見出しの付け方で、「開催」「実施」より「盛況」「悲惨」の方が内容を説明しているという事に気づかされた。紙面の一番下に写真が来ないようにする(しりもち)ということが参考になった。
- 全般的にどの様にしたら良いか迷っていたことがすっきりした。見出しの付け方で読む意識を高める。写真の載せ方で構成が生まれる。



新任公民館職員研修会

期日 平成26年6月12日(木)
会場 別府市(県立社会教育総合センター)
参加者数 51名
演題 「社会教育が つながる 社会教育で つながる 今求められる地域の力」

講師 生涯学習通信「風の便り」編集長 三浦 清一郎氏
内容 高齢者の健康教育と社会参加活動の舞台をつくることは、社会教育の最優先課題である。「放課後の教育力」は「空白」であり、社会教育として「子ども会」を立て直さなければならぬのかなど、地域力を高めるための具体的な事例による提言であった。

参加者の声から

- 元気な高齢者であるためには、その生き甲斐づくりとして社会教育が必要であると感した。
- 高齢者を使わなければ衰えていく。重い負担をかけることによってより良く生きていけることが分かりよかったです。
- 次世代支援としての高齢者ボランティア、学童保育への活用が必要である。
- 社会教育とは、何かということが分かり易く良かった。
- 学童保育への教育プログラムの導入が必要。
- 地域との社会活動の連携が必要。



公民館長・主事研修会

期日 平成26年7月31日(木)
会場 別府市(県立社会教育総合センター)
参加者数 47名
演題 「公民館から情報発信！Facebookを活用しよう」

講師 別府津郷学園高等学校情報科講師 坂本 章彦氏
内容 公民館から地域へ情報発信するためにFacebookを活用して、実際にユーザ登録を行い、記事を作成して、イベントや行事のお知らせなど具体的などのような広報機能があるのかについて実習が行われた。

参加者の声から

- 初心者なのでFacebookについて多少であるが理解できた。
- Facebookについて情報発信の機能を聞いたことは非常に参考になった。
- Facebookへのグループカレンダー(複数でカレンダーを共有する機能)が使える。
- 情報を発信するには大変有効な方法であると感した。便利なので、使えるようになりたい。
- 登録から活用の仕方がよく分かった。今後活用したい。



講師派遣出前事業

交通安全教育講師派遣事業

【内容】交通安全に関する研修会や実技講習会を開催する団体等に対して、交通安全教育講師を無償で派遣します。
【問い合わせ先】
県生活環境部生活環境企画課
〒870-8301 大分市大手町3-1-1
Tel: 097-506-3062 Fax: 097-506-1741

男女共同参画推進事業

【内容】男女共同参画に関するテーマでの啓発講座の講師を派遣しています。セクハラ・パワハラ、ワーク・ライフ・バランス、女性の生き方など、地域で男女共同参画社会づくりについて学ぶ機会を設けてみませんか？
【問い合わせ先】
県消費生活・男女共同参画プラザ
〒870-0037 大分市東春日町1番1号
Tel: 097-534-2039 Fax: 097-534-2057

消費生活啓発出前講座

【内容】消費生活に関する啓発講座を実施しており、地域における題別会や研修会など、さまざまな年代、職業、人種の応じた講座を用意しています。
【問い合わせ先】
県消費生活・男女共同参画プラザ
〒870-0037 大分市東春日町1番1号
Tel: 097-534-2039 Fax: 097-534-0684

防災アドバイザー派遣事業

【内容】自主防災組織等が防災活動をするにあたり指導 助言が必要な場合、県に登録いただい

ている防災アドバイザーを派遣して、地域防災の実践力向上を図ります。

【問い合わせ先】
県生活環境部消防保安室
〒870-8301 大分市大手町3-1-1
Tel: 097-506-3160 Fax: 097-533-0930

環境教育アドバイザー派遣事業

【内容】地域や学校における環境に関する研修会、講演会等の講師として県が委嘱している環境教育アドバイザーを派遣します。

【問い合わせ先】
県生活環境部地球環境対策課
〒870-8301 大分市大手町3丁目1-1
Tel: 097-506-3024 Fax: 097-506-1749

食育ひろげ隊(食育ひろげ隊)登録人材派遣事業

【内容】食育ひろげ隊の講師を派遣して、バランスのとれた食事に関するお話や郷土料理の実習、野菜の生産や収穫体験などを行います。

【問い合わせ先】
県生活環境部食品安全・衛生課
〒870-8301 大分市大手町3丁目1-1
Tel: 097-506-3058 Fax: 097-506-1743

金融広報アドバイザー派遣事業

【内容】金融経済・生活設計・金融教育などをテーマとする勉強会や講習会に金融広報アドバイザーを派遣しています。

【問い合わせ先】
県金融広報委員会事務局
〒870-0023 大分市長浜町2-13-20
Tel: 097-533-9116 Fax: 097-538-7085

大分県公民館研究大会について

大分県公民館大会(台風の影響により中止)における各分科会で発表予定だった内容について概要を報告します。



第1分科会 (公民館の管理・運営)

「地域住民の幸せを育む 公民館活動を求めて」

豊後高田市草地区公民館 館長 渡辺 和孝
主権講座として、①高年大学A.N.D.O地域講座(高齢者の生涯学習の場として高齢者の生きがいづくり、地域づくり)、②男性料理教室和洋食の基礎を学ぶ、③わくわく体験活動(児童が家庭や学校で体験しにくい活動を通して、たくましく生きる力を培う)などを実施している。共催事業として、①地域減塩教室(地域住民の健康意識の向上)、②敬愛弁当サービ事業(高齢者へお昼のお弁当を届ける活動)、学校支援事業として、公民館で活動している草地区食糧料理教室、物づくり教室のメンバーが草地区小学校の家庭科実習、クラブ活動並びに総合的な学習の学習サポーターとして貢献している。

「地域の要請や社会の変化に対応した高齢者学級の在り方」

国東市国東中央公民館 館長 鶴田 幸一
旧国東町の高齢者学級は、国東中央公民館と6地区公民館が連携して、高齢者の健康、生きがいづくり、豊かな暮らしづくり等のために、年間9講座を開催している。特徴としては、①高齢者のニーズに合った、魅力ある講座の企画・運営を行うために、各高齢者大学運営委員の希望する講座を聞き、講師との折衝は中央公民館が行う。②学級生がより参加しやすいように、パスの空き具合、各高齢者大学の希望日を調整して学級生がより参加しやすいように必ずバスを手配している。③講座内容の工夫については、内容がマンネリ化しないように、体験型学習を取り入れたり、意見発表を取り入れたりと工夫している。④利用者が気持ちよく活用できるように、館長・主事会議等で、施設設備に対する要望を定期的に把握して、老朽化へ対応している。

第2分科会 (教育の協働と地域教育力の向上)

「地域でサポートするふるさとの子どもたち」

宇佐市南院内地区公民館 館長 御堂 了圓
公民館が主体の活動として、①「南院つ子見守り隊」(子どもたちの下校時に国道横断箇所や歩道のない通学路などに立ち、横断旗誘導や安全確認などの活動)②「南院内小学校放課後子ども教室/学びの教室」(安全・安心な居場所づくりと体験活動や調べ学習などにより社会性・自主性を促す)を実施している。地域団体と連携の活動として、①「お便りおごめん」(地区内75歳以上の独り暮らし高齢者に、はがきを出す活動)②「大分大学生交流」(大学の音楽科によるコンサートに小学生が参加。地区ふれあい運動会競技へ大学生が参加し小学生と交流)③「地域イベント参加」(地区ふれあい運動会、南部ん市(地域の祭り)などに取り組んでいる。

「地域で育てる子育て支援」

地域教育力の向上をめざして、公民館を中心とした
由布市狭間公民館 地域人材活用指導員 黒田 美保
平成16年度、狭間公民館を拠点に子どもたちが安心していられる居場所として、始まった学業多発。市と民間団体との協働事業を進めてきた。高学年が低学年の面倒をみる縦割りの班を基本に、教室では主に技術などを教える指導者を地域で活躍中の方にお願いし、先生のサポートをしながら、生活一般や安全を見守る安全管理員を未来クラブ運営委員が担当した。1年経過したぐらいいから、教室終了時の風がさつた様な部屋から少しづつゴミが消え、3年目にははさみなどの貸出し物品が元の位置にもどり、4年目には片づけを手伝う子どもも出始めた。その頃から縦割りの活動もスムーズに進

第3分科会 (人権・同和教育の推進)

「地域で取り組む人権教育」

津市和田公民館 館長 吉武 忠美
和田公民館の重点目標に、人権教育の充実、地域課題に対応した学習の場の提供と地域づくり等を掲げていることから、日本語教室一きらさら」を独自事業として位置づけ、開設した。この取り組みを通して、外国の人たちが安心して日本語を習得し、充実した生活できるように地域で支えていき、公民館の目標に迫っていきたいと考える。実際の日本語教室では、開校式の後、受講生が地域住民(絵手紙教室生)と地域の野菜や花を題材にした絵手紙づくりを行い、親縁を深め、その後も様々な交流が続いている。今後日本語教室を通して実習生の学習環境を支援しながら、外国人と地域の人々がふれ合う機会を公民館が企画し、提供することによって、互いの存在を認め合うことができるような地域づくりを進めていきたい。

「豊後大野市清川公民館における人権学習の取組みについて」

豊後大野市清川公民館 主幹兼清川教育係長 羽田野 哲広
公民館で実施している主催事業(高齢者学級、女性学級)の受講者を対象として、年間カリキュラムの中に必ず1回は人権学習を行っている。若い世代の人権リーダー育成を目指した連続講座(25年度)では、人権8課題の中から、講師との調整をはかりテーマを決定した。小・中学校保護者、行政、事業所等へそれぞれ参加要請し、学級生を決定した。豊後大野市人権・同和教育研究会は、今年で33回を数え、各部会の発表に対して参加者との研究・討議を重ねることにより、人権教育を発展させるとともに、心豊かな社会づくりをめざしている。大会の会場は、市内7町の持ち回りで開催しており、今年度の会場は清川町(テーマ「一人ひとりが大切にされるまちづくりをめざして」)で開催した。

第4分科会 (自治公民館活動)

「知恵と工夫の公民館活動」

大野城市乙金台公民館 館長 安田 清隆
住民の親睦を深め、区としての結束・一体感を得るために、平成2年から「梅まつり」開催している。「梅まつり」の事前準備として、区の協力の協力のもと、小学5年生「田植え・稲刈りの手伝い」、中学1年生「梅の実ちぎり」を行った。まつり当日は、多くの人が来るように「餅まき」、「梅酒・梅餅・梅飾等のふるまひ」、「舞踊・カラオケ等の各サークルによる演芸」などを行う。館外は梅の花の鑑賞、館内は食事や演芸を楽しみつつ、自由な雰囲気ですつりは進む。年々、子どもの数が増え、保護者も一緒に来るようになった。他行事としては、どんど焼き、七夕かざり、敬老会、「ひなばくろ」作製(高齢者を対象に配布)などを行っている。公民館行事に関わらず来館者が大幅に増え、子どもたちが学校帰りに立ち寄り、通信簿を見せたり「開かれた公民館」の実感がわく。

「吹上町・自治会活動」

日田市吹上町公民館 館長 伊藤 高樹
活動は、自治会組織を基盤とした活動と合わせ、団体の子供会・壮年団・熟年会、吹上会も年代ごとに組織化されており、積極的に年間行事活動に取り組んでおり、おもな行事として、クリーン作戦(町内一斉清掃)、通学路点検、防災訓練、自主防災会責任者会議、地蔵尊盆供養委員会、盆踊り大会、こども盆綱引き、町内敬老会、校区体育大会、市老連運動会、渡里川堤防草刈清掃、ふれあい祭り、料理教室などである。行事の対象者は、子どもから高齢者まで、多くの人が集って楽しむ行事が盛り沢山であり、このような経験を積むことにより、町民の団結力も強くなったと感じている。また、福祉活動においては、年間の活動として特に高齢者、一人暮らしの人を対象とした支援活動を積極的に行ってきた。このような活動を通して高齢者との一体感(信頼関係)の醸成が図られ、弱者の人達からの信頼を得ることの成果を上げている。

大分県公民館連合会

公民館活性化モデル事業について

【事業の趣旨】

地域コミュニティの拠点としての公民館活動活性化のあり方について、モデル公民館を指定して課題解決のための取組を行い、その成果を検証・普及を通して、県内の公民館活動の充実・振興を図る。今年度は、中津市今津公民館、日田市桂林公民館がモデル事業を実施している。

① 「いきいき今津」 まちづくり 事業紹介

中津市今津公民館 館長 宝珠山 照人

◆今津公民館は平成25・26年度県委託モデル公民館事業として、「公民館を拠点とした地域づくり」に取り組んできた。その一部を紹介させていただく。

◆地域づくりアンケート：26年3月に校区全世帯対象に実施。地域課題や住民の考えなどを客観的に捉えることができた。

◆まちづくり協議会：地域課題は様々あるが、自分たちで解決できそうなことは自らの手で進めるのが望ましい。そこで、住民同士で話し合い活動していくため、「いきいき今津まちづくり協議会」（愛称…あい☆いまづ：公募決定）を26年7月に立ち上げた。既存の「協育ネットワーク会議」を母体として組織化し、す



ぐに活動開始することにした。

◆花いっぱい運動：すぐできることとして、県道沿いの花壇作りに取り組んだ。この半年で、花植え・草取り・水やり・植え替えなどの作業に延べ約千人が参加。新たな人のつながりも生まれてきている。

◆まちづくりワークショップ：26年8月に香川大学清國祐二教授をお招きし、地域課題の整理や解決への取り組みについて検討するワークショップを開催。60人が参加して話し合った。

以上の取り組みを経て、現在は課題解決のための部会を組織し、部会ごとに活動を展開していくよう進めているところである。

② 「桂林大人の部活」 事業紹介

日田市桂林公民館 館長 井上 敏幸



公民館主催事業「桂林大人の部活」の特徴は、それぞれの部の活動に参加した部員たちに「地域づくりや公民館活性化」などの、最近よく謳われている文言を意識して頂かず、「自分の好きな運動や文化、学習型の趣味や興味分野の展開を、公民館を起点とした活動（同好会・クラブ・仲間として楽しむ事業）」として提供したことにありと思われる。そして、それに携わってひとり一人が活動した結果として、「地域社会活性化への関与」と、更に「公民館利用の拡大」という実績が伴うと云う点である。

人は自分の趣味の域であれば、いかなる難題であっても手間は惜しむ事無く、その解決方法を熟慮し、楽しむ事を優先する傾向があると言える。更に、同じ趣味や興味を持つ者同士が集まっていることから、必然的に仲間意識が芽生え、単なる愛好の付き合いから忠実な連携へ、即ち、地域の輪や活性化に寄与すると言う結果に繋がり、それは共通の利の追求へと進展していくのである。好きな事をする為には在る程度の自己犠牲を惜しまないと云う、この利己的ではあるが絶対的な人の行動パターンを集結させる事で、地域の大きな活力と成れる点に着目して、その拠点として公民館が貢献出来る位置づけたのである。

個人の趣味や興味事項の登録を公民館が募り、同系統の興味保持者同士の引き合わせをする事で、趣味の会・同好の

会・文化部・運動部などの結成の手助けをして、公民館が後方支援に回ると言うのが、この「桂林大人の部活」の第一の趣旨である。では第二の目的と言うと、それは決して斬新な構想ではなく、日本の社会に於いて、中学校や高校そして大学、更には一般企業が極普通に育んで来た、部活動や同好会活動の拠点に成ることである。地域社会に於いて、どこにも属していないサークルや愛好会が多く存在する中、それらグループの公民館への登録を促し、公民館がクラブハウスに成って後押しをしようとするのである。

平成二十六年八月からの公募開始から7ヶ月が過ぎ、部の登録を済ませたグループは、歴史研究会・軽登山部・ギターマンドリン部・国際交流会・グランドゴルフ愛好会がある。そして一昨年から常連の卓球愛好会も、貸館から切り替えて「桂林大人の部活」の仲間入りを果たして、部としてのメンバーの少数の指導者であるが「仕合わせ（めぐりあわせ）」の引きこもり気味の方々に声をかけて公民館で語り合おうとしている。ちなみに、桂林公民館には十人程度が集えるカフェエの雰囲気の良いロビー空間が存在するのが幸いしている。更に、趣味を持つ個人登録者が数名あり、音楽の仲間や謡曲と一緒に楽しみたい等、同じ趣味の持ち主が表れるのを待ち詫びている様子が伺える。ひき合わせが終わった4名ほど居るが、彼らは4月からカラオケならぬ「ピアノ生伴奏による歌う会」を始め更に仲間を集めようとしている。

桂林公民館の利用者の月平均延べ数は、600〜700名であり、単純計算で「桂林大人の部活」部員登録者137名が、新たな利用対象者として絶対数に加わった事になる。彼らの割合が週一または月一くらいの割合で公民館に集まってくると思える。しかし、「桂林大人の部活」の存在とその趣旨は、地域にまだ十分伝わっていないと思われるので、これからも口コミと回覧板によるPR配布物、そしてまだ行っていないWEBページへの掲載などを行い、地域への浸透を図り、更なる公民館の賑わいを期待したいと考えている。



九州地区公民館研究大会 鹿児島大会に参加して



鹿児島市で開催された九州地区公民館研究大会。テーマは「地域課題の解決と地域の活性化をめざして」である。

一日目は第二分科会の「家庭教育」に参加した。昨今家庭の教育力低下が言われている中、公民館を拠点としてどのような取組がなされているか興味があった。佐世保市江迎地区公民館の発表では民生委員や主任児童委員、地域婦人会、食生活改善グループ、読み聞かせグループなど保健福祉部局や各種関係機関団体等とのネットワークの拠点として、また、公民館利用者がボランティアとして各種行事に参加するなど、「つながる喜び、地域に貢献できる喜び」となっていることで、様々なつながりの必要性を感じた。家庭の教育力向上にむけて、公民館としては学習機会の提供や情報提供を行うとともに、地域の方々の活動・活躍の場の設定、各種関係との連携を構築していく必要がある。

宇佐市教育委員会社会教育課
生涯学習係長 後藤 博文



今年度から公民館の運営に初めて関わることとなり、「公民館」とはいつの間にか、何をどう進めて行きたいのか。と戸惑っていた矢先の大会への参加であった。そんな中、一泊二日の行程の中で一緒に参加した同一地域内の公民館関係者からいろんな実情をきくことができ大変参考になった。

大会1日目の分科会では「地域づくり」の第1分科会に参加したが、沖縄県石垣島と薩摩川内市斧洲地区の取組みの報告があり、石垣島では「豊年祭」、薩摩川内市では「おのぶつ祭」という祭りを通した準備段階からのコミュニケーションづくりの活動報告がされ、とりわけ観光地として移住が多く、同じ九州とはいえ大分県から遠く離れた島でも、まったく同じような取組み、活動がされていることに大いに勇気づけられた。

大会2日目、第36代木村庄之助氏の「努力すれば夢は叶う」と題した記念講演では、行司としてこの世界に入り最高位に達するまでの歩みは実力本位の相撲界の話だけに迫力があり、手書きの番付表の裏話と併せて大変興味深く有意義であった。

竹田市明治分館
館長 酒井 恭喜

第26回全国公民館セミナー「これからの公民館」に参加して 由布市「青少年リーダーの育成」の取組について発表！

(会場: 国立オリンピック記念青少年総合センター)

セミナーの3日間を終え、総括の中で何人かの参加者が以下のような感想を述べた。「公民館は講座を開き、学習機会を提供し、参加者をグループ化すれば良いと思っていた。」「教育委員会要らない、公民館要らない。」という首長の下で働いている、公民館で働いている自分の考えは間違っているのではないかとずっと悩んでいた。「この言葉はおそらく公民館で働いている方なら誰もが一度は思ったことがある、もしくは思っていることではないだろうか?」

「公民館」は、社会教育法第20条にあるように、単なる貸館施設ではなく、地域住民の日常生活に密着してその課題解決を図るための社会教育施設である。しかし、行政の中ですら趣味娯楽の提供施設としての認知しかないように思われ、それは公民館で働く私たちの責任もあると言えるだろう。

少子高齢化が進み、2040年には全国の自治体の49.8%が消滅可能自治体として存続が難しくなるとのこと。文科省社会教育課の谷合課長は「いまこそ公民館が地域の拠点となり地域を創造していくべきだ」とし、キーワードとして①「地域の課題解決」②「子ども」の2つをあげられた。

今回、由布市では「青少年リーダーの育成」の分科会で、発表の機会を頂いた。青少年を地域の中で育てる。もちろん、子ども達が自ら考え行動できる青少年の育成も目的ではあるが、地域に愛着をもつ住民を育てる。との目的もある。地域に愛着があれば、育った地域を出たとしても、きっと地域に戻ってきてくれるのではないかと思っている。驚いたのは、中高生のリーダー育成をしている公民館が少なかつたこと。盛んな山形県の他は、分科会に参加していた30余りの公民館で事業を実施していたのは、1〜2館ほどであった。少



子高齢化で子どもを産む年代も減る中、生まれてくる子どもの数も劇的に増えるわけではない。これからは、いかに地域から出ていく人を少なくするか。それがいまま地域に課せられている課題だということである。

今回のセミナーで特に印象に残ったのは、東日本大震災で被災された岩手県大槌町社会教育課の佐々木課長の実体験のお話であった。

南海トラフの地震が予想される中、県内の多くの公民館も災害への備えをされていると思う。大槌町でも避難訓練などを行っていたものの、180人収容の公民館に800人も人が詰めかけ、自主防災組織があったにもかかわらず運営に苦労されたそうである。

また、震災復興の中で公民館の役割が非常に重要だということ、公民館をコミュニティセンターに代えようという社会的な動きについても触れられた。公民館は、コミュニティセンターをカバーできるが、その逆はできない。なぜなら公民館は「住民の学習を権利を保障するための教育機関」として、憲法をはじめ様々な法で守られており、これからは学習を通じて住民へ「教える」社会ではなく、住民自身が「学び創りあげる」社会を構築し、「共助」から住民が考え選び決める「協治」を目指すことが地域復興である。それが公民館の意義なのだと思われた。

「公民館職員は『職人』であれ。専門性を持たなくてはならない」「過去と現在と未来。すべてが繋がっているのだから、今やっていることが未来につながっているということ。私たちはその視点を持っているか?」という言葉。特に後者はつねに考えなければならぬことだと思った。

今回、このセミナーに参加させていただき、社会教育関係職員として長年の経験がありました。が、新しい情報や持っている知識の再確認ができ、非常に貴重な経験をさせていただいたことを感謝いたします。

由布市教育委員会社会教育課
長谷川 美由紀

地区公連発

大分地区公民館連合会



当地区連合会では、連合会として兼務する社会人権教育研究協議会と合同での研修会を年1回開催している。構成する大分・白杵・津久見・由布の四市が2年ずつ事務局を務め、事務局市が主催する形態で、講演や事例発表等を行っている。

研修会では、各地域の施設や街並みに触れることも魅力の一つ。今回は由布院が会場ということで、由布岳を仰ぎ、温泉地風情を感じられるものとなった。

例年2月ごろの開催が通例であるが、前年度（25年度）、由布市湯布院町で予定していた研修会が、積雪のため中止となったこともあり、今年度は約6か月前倒しして8月22日に開催した。

各市から41名の公民館関係者が参



加。前段の講演では、由布市で公民館長・社会教育委員・教育委員等を歴任した衛藤弘海氏を講師に、人間の有り様・生き方を熱心に説く話が行われ、緊張感みなぎる講話であった。昼食をはさんで午後の事例発表では、大分市・津久見市・白杵市から事例が説明された。当研修会では分科会として分かれずに、全体で3領域（人権・青少年・家庭（高齢者））の協議を行っていくスタイルであり、今回も各領域それぞれに深く討議が重ねられたところである。

この研修会をきっかけに、地区内の交流が図られることも多い。参加者はみな、来年度の再会を誓い合っており、会を終えるに至った。

大分地区公民館連合会

事務局長 利光 祐治

豊佐地区公民館連合会



平成25年5月31日に豊肥地区公民館連合会と佐伯地区公民館連合会が合併し豊佐・佐伯地区公民館連合会が設立した。

合併までの豊肥地区、佐伯地区それぞれで予算規模や、事業の実施形態に違いがあることから、設立総会の場では豊・佐公連の役員の決める方、事業計画、予算組み等について様々な意見が出された。

そして「互いの地域を知り、繋がるの目標とするところ」を当面の目標とすることが決まった。

豊・佐公連が一致団結し組織の地盤を固めるには「まずは3市それぞれで地域の地域を知り、公民館事情について情報交換をすることが不可欠である」という意見が出され、佐伯市、豊後大野市、竹田市それぞれを開催地とする公民館交流会を実施することになった。平成25年度中に佐伯市と豊後大野市で交流会を実施し、公民館長の囑託化の問題や放課後子ども教室等について情報交換が行われた。

今年度は竹田市で実施した。社会

教育事業を展開するに当たり公民館職員の技術・資質向上の必要性から、今回の内容はカヌー体験を通じての事故を未然に防ぐための仕組み等を学ぶプログラムとなった。実践経験のある竹田市の職員の方が講師となり、「パドイシステム」という仕組みで点呼のとり方や運艇中のパドイ（相方）との連携について学び、未然に事故を防ぐための注意点を参加者の自助・共助の感覚を養う方法を学習することができた。

今回学んだ仕組みを様々な形で活用し、人と人を繋ぎ絆のある地域を醸成するために、公民館での体験活動を通じて地域リーダーを育成していきたい。

また、次年度以降は他地区公連及び他県との情報交換をさせていただきながら、豊・佐公連を中心に、地域活動の拠点としての公民館づくりを目指して事業を推進したい。

豊佐地区公民館連合会

事務局長 高次 秀爾



わがまち公民館



宇佐市長洲公民館

中津地区公民館連絡協議会
宇佐市長洲公民館
館長 松岡 滋



子ども教室の将棋では、小学校1年から6年まで18名が参加し、将棋を通して思考力・判断力の育成に取り組んでいる。昭和46年から始まった「長洲地区みんなどよい子に育てる会」は地域の各種団体（自治委員、学校・PTA・民生委員・老人クラブ・婦人会・保護司・公民館）などで構成されており、公民館を

長洲地区は宇佐市北部に位置し、漁業を中心とした地域である。長洲公民館は昭和46年に竣工し当時としてはモダンなタイル張りの鉄筋コンクリート造の建築で、来館者の中にはここで結婚式を挙げられた方も多くいる。現在は宇佐市の中で一番古く新築が待たれるところであるが、地域にとっては親しみやすく懐かしさの残った公民館として多くの方に活用されている。

特色としてあげられるのは、長洲・和間・柳ヶ浦の三地域から構成される高齢者学級・婦人学級が合同で行われる新年合同学習会である。4学級の代表が集まり運営委員会で打合せをし、毎年宇佐市長の講演や会員による催しなど計画し実施している。催しも多彩で詩吟や大正琴・民謡・フォークダンス・カラオケなど多彩な催しで150名以上の参加があり恒例行事となっている。また、平成25年から開催している放課後

子ども教室の将棋では、小学校1年から6年まで18名が参加し、将棋を通して思考力・判断力の育成に取り組んでいる。昭和46年から始まった「長洲地区みんなどよい子に育てる会」は地域の各種団体（自治委員、学校・PTA・民生委員・老人クラブ・婦人会・保護司・公民館）などで構成されており、公民館を



拠点に地域と深く関わる活動を続ける中で子どもたちの成長に大きな成果を上げてきた。特に小・中・高の児童・生徒の意見発表は家族や地域のごと、夢や希望など様々な観点があり、地域住民や保護者も楽しみにしている。今後も、学級、講座をはじめ各種関係団体との連携を図るとともに、地域の祭りや行事などを活かしながら地域に根ざした特色ある内容に取り組むことにより、学校支援・家庭教育支援とともに地域の教育力向上に取り組んでいきたい。

別府市中央公民館

別府地区公民館連合会
別府市中央公民館
館長 梅木 武



昭和3年に建設された当館がリニューアル工事のため、昨年10月から約1年半休館となり、事務所は「野口ふれあい交流センター」の一室に一時移転。この間も主催講座及び学級支援・子ども教室（地域教育力活性化事業）は継続実施。それでは、当館の主催講座のうち、特徴ある2つを紹介する。

まずは、「子どもお菓子教室」。最も人気が高い講座である。管内の小学生を対象に、市内でお菓子づくり教室を主宰する佐藤友美さんを講師に迎え、毎月第4土曜日の午前に開催。定員は24名。学校・学年の垣根を越えた交流を主眼とし、その中でお菓子（ケーキ類）作りの技術を学ぶとともに、ものづくりの楽しさを感じている。協力しあって一つのお菓子を懸命に作る姿は実にほほえましい。毎月欠かさず参加する児童もあり、主催者としてやりがいを感じている。



二つめは、「温泉学一般」。別府は温泉博物館である。この講座は、市民に「別府の湯」である温泉について、入浴するだけでなく、自然科学の視点から学んでほしいと昨年度から開講。講師にNPO法人「別府温泉地球博物館事業研究会」メンバーの各専門家（大学教授等）を迎え、温泉の定義や健康との関わり、温泉地としての魅力や地形・地質等の各分野ごとにデータを駆使して講義。毎月第1木曜日午後の講座には、多くの市民が熱心に聴講している。受講生の中から「温泉マイスター」が誕生してほしいものだ。改修工事完成後は、年齢の差や障がいの有無を問わず、利用者の利便性が大幅に向上する。来年4月のリニューアルオープンを待たれる。

大分県教育委員会からの お知らせ

表彰

大分県公民館連合会表彰

【優良公民館】

宇佐市長洲公民館
別府市中部地区公民館

【優良自治公民館】

別府市石垣東6・7丁目公民館
日出町西の一自治公民館
日田市吹上町公民館

【公民館運営審議会委員功労者】

宇佐市宇佐公民館
公民館運営審議会委員 永松 マチ子 氏
大分市大在公民館
公民館運営審議会委員長 大塚 富造 氏
大分市鶴崎公民館
公民館運営審議会副委員長 長岡 文江 氏
由布市川西地区公民館
公民館運営審議会委員副委員長 峰 親則 氏
日田市日隈公民館
運営委員会 会長 石松 博 氏
日田市小野公民館
運営委員会 会長 野田 高巳 氏

【公民館優良職員】

宇佐市高並地区公民館 館長 岩本 紘一 氏
別府市南荘園町公民館 前館長 糸永 文雄 氏
大分市竹中公民館 前館長 安東 元夫 氏

大分市三佐校区公民館 主事 佐々木 由美 氏
由布市川西地区公民館 主事 小野 万世美 氏

【公民館勤務職員】

宇佐市駅川公民館 館長 奥城 和海 氏
国東市武蔵西地区公民館 主事 菅田 春江 氏

広報コンクール表彰

【公立公民館報の部】

◆優秀賞

佐伯市弥生地区公民館「やよい」
由布市川西地区公民館「すくらむ」
豊後大野市緒方公民館「緒方公民館だより」

◆優良賞

別府市南部地区公民館「さわやか」
別府市朝日大平山地区公民館
「朝日大平山地区公民館報」

【自治公民館報の部】

◆優秀賞

豊後大野市朝地町上尾塚自治公民館「まがいぶつ」
別府市鶴見町公民館「公民館だより」
大分市穂田校区公民館「公民館だより」

◆優良賞

別府市大畑公民館「大畑通信」
別府市関の江新町公民館「せきのえしんまち」

【ポスター・チラシの部】

◆優良賞

臼杵市野津中央公民館
高齢者学級「白寿大学」ポスター

【学習資料の部】

◆優秀賞

臼杵市中央公民館
「乳幼児期家庭教育学級にじっ子」

◆優秀賞

宇佐市東院内地区公民館
「平成25年度放課後子ども教室の記録」

◆優良賞

豊後大野市緒方公民館
「うきうきわーど」活動記録集

公益社団法人全国公民館連合会表彰

【優良職員表彰】

宇佐市南院内地区公民館 館長 御堂 了圓 氏

【永年勤務職員表彰】

豊後高田市呉崎公民館 館長 伊東 泰三 氏

文部科学大臣表彰

【第67回優良公民館】

臼杵市田野地区公民館

【九州公民館連合会】

第66回九州地区公民館研究大会（長崎大会）

期日：平成27年8月27日（木）～28日（金）

場所：長崎ブリックホール（長崎市）他

【公益社団法人全国公民館連合会】

第37回全国公民館研究集会in鳥取

期日：平成27年10月15日（木）～16日（金）

場所：とりざん文化会館（鳥取市）他

全国公民館連合会表彰

通知予定：平成27年5月

・優良職員表彰 ・永年勤務職員表彰 等

※表彰式は第66回九州地区公民館研究大会（長崎大会）の全体会にて行います。

全国公民館ホームページコンクール

通知予定：平成27年10月

・最優秀賞（1点） ・優秀賞・特別賞（数点）

第27回全国公民館セミナー

期日：平成28年1月（予定）

場所：東京都国立オリンピック記念青少年総合センター（予定）

27年度事業の予定

【大分県公民館連合会】

大分県公民館連合会総会

期日：平成27年5月19日（火）

場所：県立社会教育総合センター（別府市）

大分県公民館関係職員全体研修会

期日：平成27年5月19日（火）

場所：県立社会教育総合センター（別府市）

※大分県公民館連合会総会終了後開催

大分県公民館新任職員研修会

期日：平成27年6月12日（金）

場所：県立社会教育総合センター（別府市）

大分県公民館長・主事研修会

期日：平成27年7月10日（金）

場所：県立社会教育総合センター（別府市）

第57回全国社会教育研究大会大分大会

（第66回大分県公民館研究大会）

期日：平成27年10月7日（水）～9日（金）

場所：ホルトホール大分（大分市）他

大分県公民館連合会表彰※

募集期間：平成27年4月～6月

・優良公民館 ・優良自治公民館
・公民館運営審議会委員功労者
・公民館優良職員 ・公民館勤務職員

大分県公民館連合会広報コンクール※

募集期間：平成27年4月～6月

・公立公民館報の部 ・自治公民館報の部
・ポスター、チラシの部 ・ホームページの部
・学習資料の部

※表彰式は第57回全国社会教育研究大会大分大会にて行います。

地域の活力づくりに活用できる財源について

1 地域活力づくりチャレンジ事業

【概要】 地域資源等を活用した地域活性化に向けて、地域の様々な主体がチャレンジする調査研究や試行等に対して支援する。

【補助率】 3/4以内 【補助限度額】 2,000千円

【対象事業】 ・地域資源の活用や地域の課題解決につながるコミュニティビジネス
・地域の課題解決やコミュニティの醸成など

2 地域活力づくり活動支援事業

【概要】 地域の様々な主体の行う地域活性化に向けた取組を支援する。

【補助率】 1/2以内（市町村を通じた間接補助の場合は1/3以内で、市町村の補助金額以内）【補助限度額】 30,000千円

【対象事業】 ・地域資源の活用や地域の課題解決につながるコミュニティビジネス

・地域間交流、人材育成、文化振興、イベント開催等
地域活性化につながる取組
・観光と地域づくりを一体として進めるツーリズムの
振興につながる取組
・災害対応や風評被害対策など緊急性が高いものなど

【問合せ先】

東部振興局 0978-72-0857

（別府市、杵築市、国東市、姫島村、日出町）

中部振興局 097-506-5721

（大分市、臼杵市、津久見市、由布市）

南部振興局 0972-22-9073（佐伯市）

豊肥振興局 0974-63-1291（竹田市、豊後大野市）

西部振興局 0973-23-5739（日田市、玖珠町、九重町）

北部振興局 0978-32-1373（中津市、豊後高田市、宇佐市）



大分県公民館連合会では、ホームページを開設し、随時更新します。

各公民館活動の様子や公民館報などの情報を、事務局までお気軽にお寄せください。

大分県公民館連合会事務局